

# 生活者ネット こくぶんじ

No.180  
2025年4月

発行／国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者／田中由紀  
連絡先／〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103  
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878  
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



都議会議員  
いわなが  
岩永やす代



市議会議員  
たかせ  
高瀬かおる



市議会議員  
こさか  
小坂まさ代



市議会議員  
まつおか  
松岡まり

## 2025年3月市議会報告

### 代表質問より

#### 国分寺市総合ビジョン「子ども版」ができます

今年度から市の最上位計画である第2次総合ビジョンに基づいた実行計画がスタートしました。2024年9月に開かれた総合ビジョン審査特別委員会で、子どもも含めた市民の理解が深まるような「総合ビジョン子ども版」作成を、と要望したところ、今回の代表質問の質疑で「中学生が市の計画に触れるきっかけとなるよう、授業での活用を想定した『子ども版』を作成予定」だとわかりました。デザインにも配慮し、多くの方が読んでみたいと思えるような子ども版となるよう期待します。

#### こども家庭センターができました

全ての妊産婦、子ども・子育て世帯に対する切れ目のない支援をするため、総合相談機能のある「こども家庭センター」が4月にいずみプラザに開設されました。制度や組織の縦割りの切れ目、就学・中学進学・卒業などによる年齢の切れ目、障害の有無などにより取りこぼされる子どもや家庭がないように継続的な支援を進める必要があります。今回、こども家庭センター内に、新たに中部地区拠点親子ひろばとなる「いずみひろば」も新設されます。相談に来た方だけでなく、遊びに来られた方の声も拾い、子育てがたつくなる前につながれるような工夫を求めました。

(小坂まさ代)

### 予算特別委員会より

#### 暮らしを支援する施策を求めました

2025年度の一般会計予算は約605億円となり、昨年度の新庁舎建設事業費を除くと過去最大です。社会保障関係などの扶助費は年々増加していく一方です。今後も(仮称)リサイクルセンターや旧庁舎跡地の複合公共施設の建設、小中学校のメンテナンス等、大型事業も予定されています。人件費や資材の高騰に加え、金利の上昇もあり、地方債借入れでは個々の事業を精査し慎重に見極めていくという答弁がありました。ひとり親世帯や単身高齢者、非正規雇用の女性など社会的に弱い立場に置かれる市民の暮らしぶりを把握し、だれもが自分らしく生きられる支援の実施を求めました。

#### 皆さんの声を市政に提案します

市民活動団体との協働事業、認知症の新規事業、医療的ケア児の支援、産後ケアの拡充、空間放射線量測定休止、ぶんバスの運賃値上げ、国3・2・8号線の暫定開放における安全性、不登校支援と「トライルーム」、特別支援教育、中学校給食の在り方など委員会では様々に質疑しました。市民にとってどんなことが必要なのか、改善すべきことは何かを、私たちひとりひとりが考え、話し合っていくことが大切です。生活者ネットの部会など、対話の場で一緒に考えてみませんか。市への提案につなげていきます。

(松岡まり)

### 小坂まさ代の代表質問



### 本会議での 予算特別委員会報告



### 都議会議員と連携しています

## 大噴水の建設より市民生活を優先する予算を！

都議会生活者ネットワークは、2025年度の都の一般会計予算とお台場海浜公園の巨大噴水を盛り込んだ臨海地域開発事業会計予算に反対しました。「ODAIBAファウンテン」は、26億円もの予算がかかる上、噴水に水道水を使用します。水道料金だけでなく、環境への影響や都民の飲み水を大量に使う問題があり、そもそも都が実施すべき事業とは思えません。暮らす人の生活を支える施策を優先すべきです。

(都議会議員 岩永やす代)